



オーガストオフィシャルハンドブック
2011年春号

あいよく

穢翼のユースティア

Qui tollis Peccata mundi Omnia, Qui sedes ad dexteram Patris, Qui vivis et regnas, Cum Spiritu Sancto, Qui exisistis simul cum Patre et Filio, Qui procedis a Patre, Tu sola procedis Filius, Qui sedes ad dexteram Patris, Qui tollis omnia peccata mundi, Infundis Amorem cordibus, Qui tollis Peccata mundi propius.

 **AUGUST**

P R E F A C E — ま え が き

こんにちは、オーガストです。

初めての方、はじめまして。
何度目かの皆様、いつもご愛顧頂きありがとうございます。

先日4月28日に、新作『機翼のユースティア』を発売致しました。
お楽しみ頂けていたら幸いです。

また、よろしければアンケート葉書にてご感想をお送り下さい。
一通一通、開発スタッフが読ませて頂きます。
そして、お叱りも励ましのお言葉も次回作への糧にして参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

それでは、多少のお時間を拝借致しますが、オフィシャルハンドブックをお楽しみ下さい。

2011年春 オーガスト/ARIA 拝

CONTENTS

- 3 『機翼のユースティア』イラストコラム
Bekkankou's Voice
- 6 『機翼のユースティア』Short Story
兄弟の真相
- 9 スタッフ対談
- 10 あとがき



Bekkankou's Voice

Rough Illustrations of "AIYOKU no.EUSTIA"



■こんにちは、ベッカंकこうです。

このコーナーでは「穢翼のユースティア」のヒロインたちのイラストとともに彼女たちに対するコメントをつらつらと書いてみました。

ゲームの発売後なので初回版特典の穢翼クロニクルより少しだけ本編の内容にも踏み込んでいます。ネタバレには気を付けましたが、心配な方はこれから3ページは全クリアしてからご覧ください。

それでは短いページですがお付き合い頂ければと思います。



■ティアはホントに健気で良い子です。料理も得意だし、個人的に「嫁にしたい穢翼ヒロイン」No.1ですね。彼女のほわほわした笑顔はカイク君だけでなく開発で荒んだ僕自身の心も癒してくれていたんじゃないかと思えます。

■背中への羽根は途中から大きくなって↑の絵のように服じゃ隠せなくなるんですが、この服の背中側がどうなってるのかは実は未設定だったりします。まあ服に切れ込みを入れてるんだらうけど着づらそうだなあ。

ユースティア・アストリア

EUSTIA ASTRAEA

エリス・フローリア

ERIS FLORALIA

■エリスはこれまであまり描いたことのないタイプのヒロインでした。その分イベントCGの方も普段描かないシチュエーションが多かったような気がします。HPでも公開している路地にぼつんと立っているCGなどは雰囲気が出て良かったんじゃないかと思います。(特に雨差分)

■他のヒロインルートでも牢獄民代表としてシニカルな面を見せてくれます。エリス好きな方は彼女のルートだけでなく他のルートでの彼女にも注目して頂ければと思います。

■そういえばこの子だけ立ち絵の服が一パターンしかないんですよ。エプロンとかメガネとか追加パーツは充実してるんですが。

■一方こちらはお姫さまなので衣装もたくさんあります。ここでは人気の高い気がする私服バージョンを描いてみました。姫さま曰く比較的庶民っぽい服をチョイスしたそうなんですがどうなんでしょうね。

■リシアルートはお城が舞台になるだけに武官や文官取り混ぜて男性キャラが多く出てきます。ガウというキャラなんかは企画段階では男だったのをあまりの男性率の高さに女性に変えたというきさつがあるくらいです(結果的にはそれで良かったと思いますか)。

ちなみに個人的に男性キャラではルクウス君がイチ押しだったりします。

■……おっとリシアの話でしたね。彼女自身の成長がリシアルートの手だったりします。是非見守ってあげてください。

リシア・ド・ノーヴァス・ユーリイ

LICIA DE NOVUS YURII

聖女イレーヌ

SAINT IRENE

■官目設定なので初期のイメージイラストなどではずっと目を閉じっぱなしだったのにプロモーション後期では目を開けてる絵も公開されてます。何故目を開けてるのは是非本編でご確認ください。
■聖女という肩書から聖人君子のような立派な性格をイメージされる方もいるかもしれませんが、どっこい意外我が侘だったりします。特にお付きのラヴィリアやカイル君など親しい人に対してはその傾向が強いです。



■フィオネは立場的に牢獄から王城までどこにでも登場できるのでシナリオ的に使いやすかったと榊原氏が言っていました。確かに色々なルートにちょいちょい出てきます。

■剣の腕はカイルをはじめ強者が多いので霞みがちですが、相当強い部類に入るんじゃないかと。多分スティナと同格くらい？一方でリカルな日記をつける乙女な一面があるのも彼女の魅力でしょうか。

■綺麗好きなので当然お風呂も大好き。しずかちゃんみたいです。家事は一通りこなすし、しっかり者なので嫁にするにはいいかもしれません。だらだらしていると怒られそうですが……。毎朝トレーニングとかさせられて健康になれるかも？

フィオネ・シルヴァリア

FIONE SILVARIA

穢翼のユースティア ショートストーリー

兄弟の真相

榊原 拓

下層から牢獄に運ばれてくる食料は、いつも不足していた。

一時的な不足はこれまで何度もあったが、数年前からは慢性的に不足している。

誰も口にはしないが、これが一時的なものではない可能性は否めない。

小麦が足りない、酒が足りない、野菜が足りない……

いつも、何かしらが足りていないのが日常となっていた。

そして今日も。

娼館街の酒場「ヴィノレタ」の扉を開けると、カウンター越しに、店主のメルトと不蝕金鎖の頭であるジークが睨み合っていた。

が、すぐにジークがカウンターに崩れ落ちる。あまつさえ、めそめそと泣き真似まで始めた。

「何やってんだ」

「最愛の料理がメニューから消えた……」

「だって材料が無いんだもの。仕方ないじゃない」

「市場に全く無いのか」

「そうなの。香辛料一つなんだけど、あれが無いと作れないのよね」

ジークは突っ伏したまま。

腕組みをしたメルトもお手上げのようだ。

「ねえお二人さん。何とかならないかしら」

「そう言われてもな」

メルトの瞳が怪しく光る。

「もし手に入れてくれたら……そうね、どっちがお兄ちゃんだったか思い出すかも」

がぼっとジークが上半身を起こした。

「それは一大事だ。不蝕金鎖を挙げて手に入れる」

「お前、この話題に食いつき過ぎだろう」

俺とジークを兄弟呼びわりするメルト。

そしてジークは案外この話に食いついたりする。

「先着一名様ね」

「勝手にしてくれ」

だが、既にジークは店を飛び出していった。

特に仕事が入っていなかった俺は、市場に足を運んでみた。

ま、何となくだ。

ついでに顔なじみがいいたので声をかけてみる。

「おやカイクさん、どうしました」

「いや、最近商売の方はどうかと思ってな」

「相変わらずの品不足でして……そういや先程ジークさんもいらしてましたよ。香辛料を探してるとかで」

「……ほう」

「ジークさんだけじゃなく、部下の方も動いてらっしゃいましたね。市場の顔役のどこにも顔出してたようですが、まだ見つかってないとか」

本当に部下まで使ってるのかあいつは。

「で、カイクさんも何かお探ですか」

「いや、俺は別に」

適当にお茶を濁して、その場を去る。

「カイクさん」

そこに、買い物籠を持ったティアがとてとと駆けしてきた。

「お仕事ですか？」



「まあな。お前は買い物か」

「ええ、晩ごはんの材料を」

籠の中には、ニンジンや芋が見えた。

「……何かお探したみたみですけど、お手伝い
しましようか？」

「不蝕金鎖が組織を挙げて探しても見つかってない。
足手まといになるだけだ」

「そっですすよね……」

「羽狩りもうろうろしてる。寄り道せず家に帰って
いてくれ」

「もしお手伝いできることがあったら言ってくださ
いね」

そう言っただけでティアは市場を後にした。
さて……どうしたものか。

「エリス、いるか？」

「いない」

エリスの返事を無視して自宅兼診療所に入る。

患者の姿はなく、エリスは何か薬のようなものを
作っているところだった。

眼鏡を外し、溜め息をつきながらこちらを見る。

「結婚式の日取りの相談、今日だったか？」

「仕事の話だ。探しているものがある」

「伴侶ならもうここにいるけど」

「話を聞いてくれ」

香料の中には、薬草のような使い方をするものも
ある。

もしかしたらエリスなら持っているかもしれない。

俺は探している香料の名前を告げた。

「で、何でそんなものを探すのが仕事になってるの」

「ジークに聞いてくれ」

「ジークならさつき来て、メルトがどうか言っ

た」

「……ま、そういうことだ」

「くだらない」

「俺もそう思うが……で、持っているのか？」

「カイルもメルトのことがまだ気になってるんだ」

「そういうわけじゃない」

「なら気にしなければいいのに」

「面倒な展開になってきた」

「持つてるのかどうかだけ教えてくれ」

「教えない」

エリスが臍を曲げると長引く。

失敗したか。

……だが、少なくともジークには渡していないだろ
う。

それなら、たとえエリスが持っていたとしても先着
争いには関係なくなる。

「わかった。ジークや部下の連中には渡さないでい
てくれればいい」

「ふう……カイルもジークと一緒にね」

エリスの溜め息を聞きながら、部屋を後にした。

そのほか、いくつかの心当たりにも足を運んでみた
が総空振り。

元々そんなに通っていない香料だったらしく、
料理で使う人もあまりいないそうだ。

下層から品が入ってくるまで、どうしようもないだ
ろう。

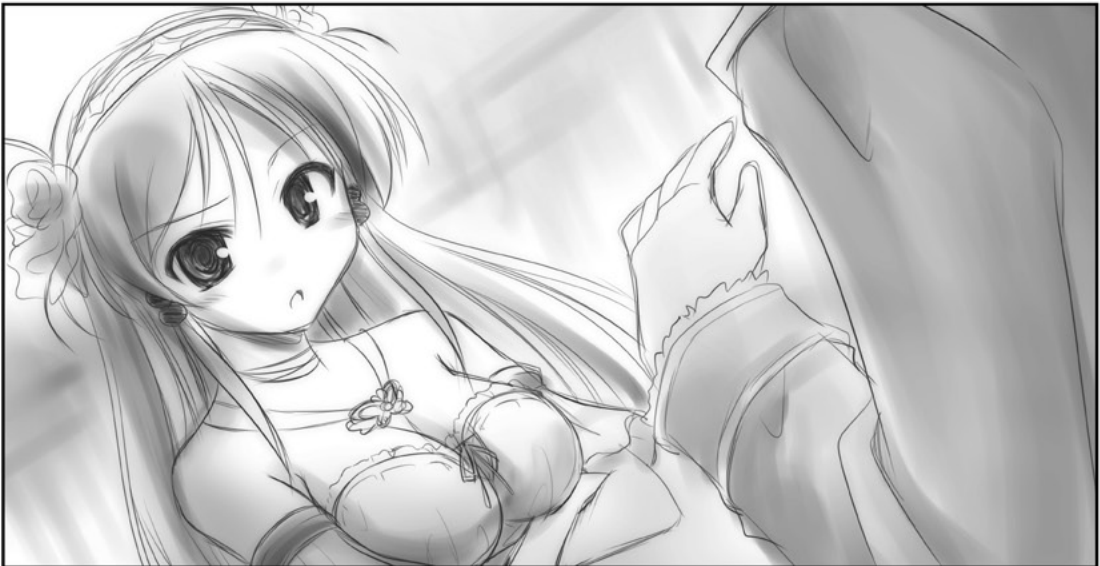
……ばたばたと動き回ったことに内心苦笑しながら、
家へと足を運んだ。

「ティア？」

いつもなら明かりが点いている部屋が暗いままだ。

ティアは夕食の準備をしに帰ると言っただけは、
どこかに寄り道でもしているのか？

俺は、足早に娯館街の中心部へ向かう。



「カイクか」

娼館リリウムの前で、ジークと鉢合わせる。

「香辛料は見つかったか？」

「いや、そもそもお前ほど探してない」

「市場でお前を見かけたがな」

「……野暮用だ。それより部下を使って探させてたらしいじゃないか」

「足りない食い物の値段を吊り上げてる奴がいないか、目を配るのも仕事だ」

「半分は本当だろうが、物は言い様だ。」

「……それより、ティアを知らないか」

「嬢ちゃん？ さあな、メルトにまた料理でも習ってるんじゃないか」

俺たちは何となく先を争うようにヴィノレタに向かい、扉を押した。

からんからん

「あ、カイクさんにジークさん。いらっしやいませー」

ティアが、鍋の上で何かをばらばらと振りかけながら、俺たちをのんびりと出迎える。

「ティア、寄り道するなと言っただろう」

「ほれみる……ん？ この香りは」
ジークが好物だと言っていた料理が作られているようだ。

「さすがジーク、すぐわかるのね。……で、お二人さん香辛料は？」

「いや、それがまだ」

「俺は別に探してない」

「あーそ。ま、先にティアちゃんが持ってきてくれたから、勝ったのはティアちゃんになるんだけど」

「えへへ……」

役に立ったのが嬉しいのか、ティアがてれてれと笑っている。

「なんでティアが持ってるんだ」

「以前、メルトさんにこの料理を教えて頂いたときに、一瓶だけお借りしていたんです」

「さっきその話をしたら持ってきてくれたってわけ」

俺とジークはちらつと目を合わせ、揃って肩をすくめた。

きつと、メルトは香辛料をティアに貸していたことは覚えていたのだろうし、どちらが兄かなんてことを俺たちに教えるつもりも無かったのだろう。

「……兄弟の件はやっぱり遺書までお預けね」

そう言って笑い、メルトは俺たちにいつもの麦酒を持ってきた。

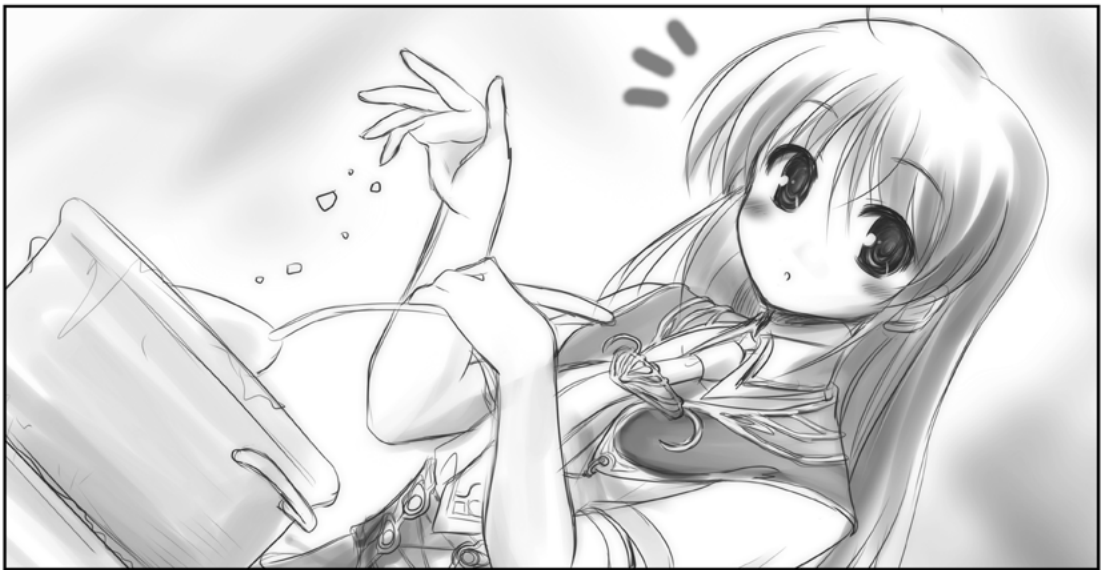
二人同時に、無言のまま陶杯を呷る。

「カイクさん、兄弟のお話って何のことですか？」

「寄り道する奴には教えん」

しよんぼりしたティアを横目に、俺たちは同時に陶杯を空にした。

END



べっかんこう(以下べ)：それでは今回も対談を始めましょう。

榊原拓(以下榊)：やっと穢翼も発売されました。発売後ということで既にプレイされてる方もいらっしゃると思うんですが、もうクリアした方もいるんでしょうか。

榊：東京ドリバはまだ発売から三日です。大阪ドリバだとほぼ二ヶ月が過ぎていたのでクリアされている方も多いいと思うんですが。

べ：この対談で内容をしゃべっていいかどうかが変わってくるんですよ。

榊：先に「穢翼のユースティア」をクリアしてからお読みください。内容の核的な部分についての会話があります!とか言っておくのは?

べ：まだそこまでディープな話はしない方向で(笑)。

榊：では穢翼ラジオの話とか。

べ：ラジオ始まりましたね。東京ドリバのタイミングだと丁度第一回が配信されるところじゃないでしょうか。

榊：これまでのオーガスト放送局ラジオと多少違って、今回は声優さんに結構自由にしゃべっていただいている感じです。

べ：第0回を聞きましたけど、こういうのもいいですね。これからの配信が楽しみです。

榊：お便りを募集していますのでよろしくお願いします。

べ：さて穢翼本編の話。

榊：はい。

べ：オズに顔グラが追加されましたよ。体験版に出てきますよね、オズ。

榊：序盤の部分は、テキストも微妙に変わってます。体験版と比べて。

べ：体験版プレイ済みの方も折角なので飛ばさずにプレイしてほしいですね。今回は主人公にも声がついてますし。

榊：主人公ボイスがまた多いんですよ。当たり前ですが、全キャラの中でも圧倒的に多いです。

べ：基本的に出すっぱりですからね。

榊：主人公にボイスつけようという話になったとき、個人的には少し不安だったんです。でも体験版のデバッグをしていて、思ったより全然良かったんで、今になってみるとつけて良かったなど。

べ：作風次第ですが、今後も検討していきましょう。

榊：アンケート葉書にはボイスに関する項目もあるので、こちらもよろしくお願いします。

べ：穢翼はシナリオの構造がいつもと少し違いますよね。

榊：通常の「完全パラレル分岐」は今回採用していません。体験版直後だと、カイクとロシアには接点すらありませんし。

べ：さすがに姫様が一人で牢獄をうろろするわけにもいきませんか。

榊：ええ。シナリオの構造は、全体を通したストーリーを考えた上で、今回はこういう形が良からうと話し合って決めました。

べ：大きな話の流れは描けましたか?

榊：それを目指したということで。シナリオチーム的には初体験だったので、チャレンジではありましたが、試行錯誤の連続でした。

べ：どうだったか感想を聞かせてもらえると嬉しいですね。

榊：全部クリアしたら、ロゴクリックも忘れずに!

べ：マスターアップ直前のヘロヘロの状態で作ったものなので、怒らないでくださいね……。

2011.4.20 18:15 社内にて

スナップ対談
第28回 べっかんこう & 榊原拓



POSTSCRIPT - あとがき

オフィシャルハンドブックをお読み頂き、ありがとうございました。
お楽しみ頂けましたでしょうか。

3月に『機翼のユースティア』の制作を終え、開発室では4月から早速次回作の企画作りが始まっています。
まだ具体的な形は全くできていませんが、なるべく早く皆様にお知らせできるように制作を進めて参りますので、ご期待頂ければ幸いです。

また、2007年から児玉樹さんによる連載が続いていた『FORTUNE ARTERIAL』の漫画版が、そろそろ大団円を迎えようとしています。(2011年4月現在)

オーガストのスタッフも、連載を毎月楽しみにしていました。素敵なコミック化ありがとうございました。
最終巻も遠からず発行されると思いますので、こちらもよろしくお願ひ致します。

それでは、今回はこの辺で。
今後ともオーガスト/ARIAをよろしくお願ひ致します。

2011年春 オーガスト/ARIAスタッフ一同

オーガストオフィシャルハンドブック 2011年春号

※禁無断転載・無断複製

最新情報満載!
オフィシャルホームページにぜひお越し下さい!

<http://august-soft.com/>
<http://aria-soft.com/>



Eustia

あいよく
機翼のユースティア

Est dicitur Proprietate. Altitudo dicitur. Proportio, ratio, pondus. Et spiritus sanctus.
Tu, carissime, proinde. Quia, tuum, dicitur. Tu, tu, proinde, tuum.
Quia, tuum, dicitur. Quia, tuum, dicitur. Quia, tuum, dicitur.
Quia, tuum, dicitur. Quia, tuum, dicitur. Quia, tuum, dicitur.



あいよく

職翼のユーステア

*Qui dicere Panegyricum. Attentioni fessum Dei, Peru vivum, tenis, caritas, Et spiritibus sanctis.
Tu septiformi manere, Ductus Paterna dexterae, Tu rite pronovissim Patris,
Sermonis dicitur confessor. Attendit lumen semitibus, In funde Amorem cordibus,
In firmo natus corporis Virtute firmavit perpe.*

オーガストオフィシャルハンドブック
2011年春号

